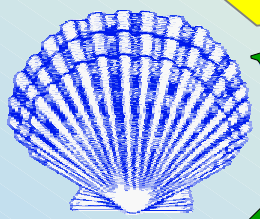
「ホタテ貝殻の有効利用」に関する産学共同研究の概要

＊は共同研究の共通認識

陸奥湾、年間約５万トンの貝殻、国内では21万トン



有効利用
(平成６年～)

ホタテ貝殻焼成
ホタテ貝殻
セラミックス

- 化学物質低減分解機能
- 抗菌機能
- 消臭機能
- 防虫機能
- その他の機能

実用化した主な製品
産学共同研究(平成11年～)

■シックハウス対応の壁材・塗料
■シックハウス対応の紙製品
■キッチン用除菌・消臭剤
■靴の消臭・水虫菌除菌剤
■セラミックス含有不織布シート
・インソール　・スリッパ(岩手県大野村)
・まくらとシーツ(埼玉県南河原村)
・タンスの中敷き　・建築用クロス
■カルシウム発芽玄米
■水虫治療薬（米国内で商品化）
今までにないほど効果のある治療薬に

＊すべて天然素材、化学物質は使用しない

＊社会的ニーズに対応
- シックハウス問題の解決
- 食中毒問題の解決
- 水虫問題の解決
- 院内感染の解決

＊環境問題への対応
- 廃棄物処理問題の解決
- 廃棄物の有効利用
- 廃棄物の資源化
  洗浄剤:　貝殻１トン数億円
  水虫治療薬:　貝殻１トン数十億円

＊世界に通用する、オリジナルな製品

販売戦略

■壁材　米国、ヨーロッパ、中国で販売中
■除菌・消臭剤、歯ブラシ、うがい薬
■インソール　各種通販（国内）
■カルシウム発芽玄米　東洋メディック(国内)
■毎日満足　各種通販（国内）、スーパーマーケット（米国）
■水虫治療薬(米国)

出典：八戸工業大学小山教授「内閣府総合科学技術会議　第23回知的財産戦略専門調査会」での発表資料より